



平成七年度文化協会 新しい陣容で発足

新会長に 関 義豊さん

役員顔ぶれ

- 会長 関 義豊
- 副会長 佐藤 利秋
- 副会長 小林 俊子
- 監事 柳沢 芳夫
- 監事 佐藤 充子

就任のご挨拶

会長 関 義豊



四月に行われた本協会の総会に於いて、不肖私が会長に選任されました。

浅学非才の身がこの任を汚すことは誠に身の引き締まる思いであります。会員諸氏のご期待に副うべく鋭意努力して参る所存であります。

本会は、自主的な文化活動を通して豊かな人間性を養い、会員相互の研修を深めると共に、生き甲斐ある生活の指向と町民の文化の向上に寄与することを目的としております。

生涯学習と併せて、会員約一千名が、老若男女を問わず、中央公民館及び文化会館を主な活動場所として、ひとりひとりの力を生かしながら楽しんで活動しております。

皆様のご指導とご鞭撻を賜り、伝統ある文化協会の更なる発展の為に微力を尽したいと存じますので、何卒ご協力の程をお願い申し上げます。

湯の道に句碑を建立

百体観音にあやかって

「文学の道」を

俳句部会

去る五月二十一日、湯の丸街道、二十二番観音の傍に一基の句碑が建立され、除幕式が行われました。

建立したのは、文化協会に加入している俳句の三つの部会(噴煙・石楠・石榴)の皆さん。

文化協会の発足以前から、石井補人さん(俳号塵外)の主幹の下に活動を始めて、爾来二十数年。

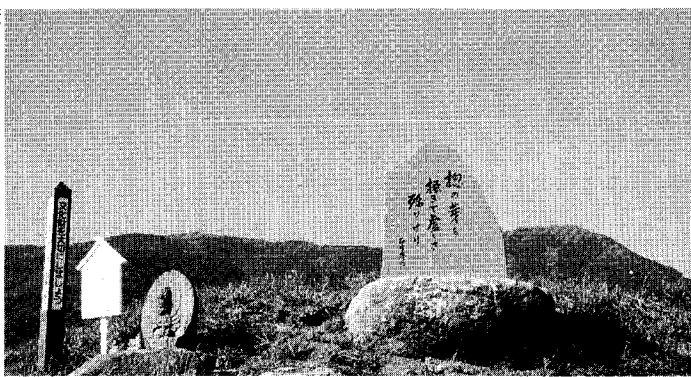
年毎に会員も増え、全県的な交流を図りながら今日に至っています。

先年、長いこと欠けていた百体観音の復元と整備が行われ、湯の道を行き交う人々の眼を楽しませていますが、同句会でも、旅の安全と安産を祈って寄進されたといわれる百体観音にあやかって、「文学の道」を作ろうという機運が高まり、建設委員会が結成されました。

一番難題だったのは、建立場所の確保でしたが、百体観音の復元に腕を振るわれた石工、山崎豊雄さんの

好意により土地を無償で貸していただくことになり、建立に弾みがつきました。

既に、六十番観音の近くには丸山晩霞の句碑が建立されていますが、氏の句碑を核にして今後、小諸市の「チェリーパーク



樹の芽を掻きて虚しさ残りけり



ライン」のような「文学の道」を目ざし、先ずその第一走者として、主宰の石井さんの句碑を建立することになりました。

石工の山崎さんが地元産の良い石を選び、手彫りによってすばらしい句碑ができてきました。据えつけられたのは、南に蓼科山・八ヶ岳、西に美ヶ原・北アルプス、東に烏帽子岳・三方ヶ峰の峰々を望み、晴れた日には遥かに富士山も仰げるといふ誠に眺めのよい所です。

除幕式当日は、朝まで降っていた雨も上がり、多数の会員の出席の下に、句碑の完成を祝いました。

石井さんは、「たまたま私が主宰ということで句碑の第一走者になりましたが、建設委員会の手で早いうちに、第二、第三の走者にバトンタッチしていただきたい」と語っています。

新 部 会 の 紹 介

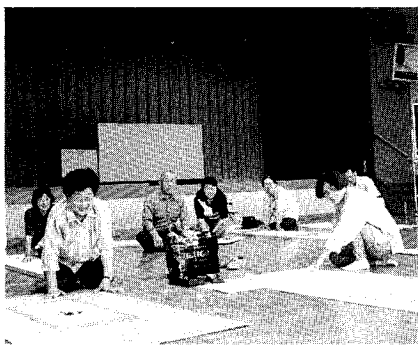
わたくしたちは、新しくできた部会です。
いっしょにやってみませんか。

表具部会紹介

小林 千昭

「自作の書画を自分で表装して楽しみたい。趣味で表装を覚えたい」という希望者が、小林善信先生に師事しています。

和紙のよさを見直し継ぎながら裏打する、まさに伝統的な表具の手順であり、昔の秘法も今では素人にも習得でき、現会員も女性が多く、また上田・小諸・丸子・武石からも参加しているのが特色です。



着物部会

柳沢よし子

町の生涯学習を修得した人達で発足しました。簡単に、苦しくなく、着崩れしない着装を目指し、和気藹々と習得しております。

ます。

着装によって得られる美、立居振舞も優雅に、愛美礼和を身につけて、美しい人生を過ごせるよう努力し、精神性の高い衣服である日本民族衣裳のきものを着装できるよう頑張っております。

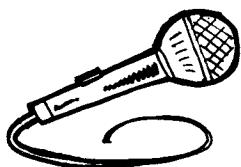


せせらぎ部会

小林 俊子

せせらぎ部会ってなあに？と言われそうですが、今までの部会に所属できない新しいグループが増えましたので、せせらぎ部会とし、今年度だけ執行部直轄のかたちをとりました。

現在はハーブ・ヘルシークラブ、カモミールの会（ハーブ）、ル・レーヴ（フラワーアレンジメント）の三グループです。



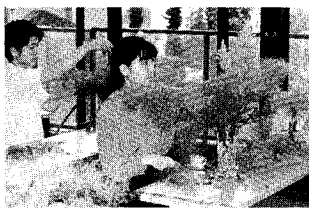
グ ル ー プ 訪 問



食卓に花を生ける

せせらぎ部会 ル・レーヴ

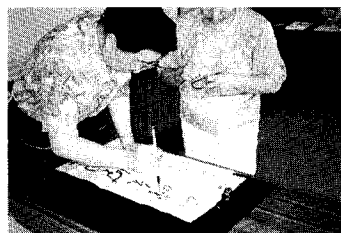
みなさんの食卓には花が生かっていますか。そんなゆとりの日々を過ごすに
を過ごすに
は。教室は
隔週土曜日
九時半から
二時間の勉
強。説明が
終ると作業
なのだ。い
つもは見本を見て同じように生けるが今日は自由に生けるパターンだ。『投入れ』とかで流派もないし、生ける花、形もちがうとか。そうそう、先生は洋服でした。若い人が多いのが特徴だ。リビングやソファーに、またお見舞などに手作りの盛り花はいかがでしょうか。ジッと見詰める生徒の目は真剣そのもの。



四季の取り合わせ

華道部会 遠州流

「好きなことをやっているときは、手間も暇も考えずできることが楽しい。生け花を始めて三年目になります。きっかけは、ある日のこと、殺風景な部屋に花が生けてあり花の存在に感激



ぶどう園の仕事がある時は深夜、目をこすりながら書くとか：

文字の書き方を習う

書道部会 こまくさ会

「書道 それは毛筆で文字を巧みに書く術。ねじり鉢巻き、襷掛け、そして正座して書く」とは思いませんが、指導の先生はサロン前掛けに朱墨の筆を持ち宿題の添削に余念がなかった。一筆一筆、筆の使い方など丁寧に指導を受けていました。脇では、生徒さんが一つ一つメモをとったりして文字の書き方を習っていた。



した」と生徒の一人は言う。趣味は視野を広げ、人とのつながりもつくります。できた作品をジッと見詰めて心静かに何かを思う。こんな瞬間を大切にしたいですね。

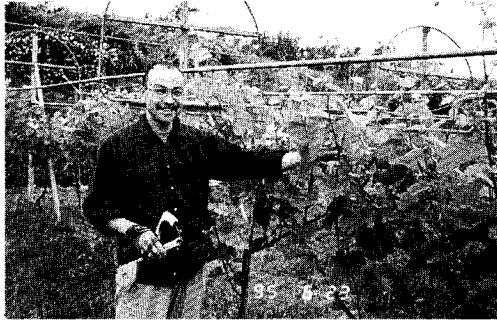
ヴィラデストのワイン畑より

玉村豊男さんからのメッセージ

エッセイのほか、ワイン作りを始めとする農業や絵などの分野でも活躍の玉村豊男さんを東田沢の「ヴィラデスト」にお訪ねして、私たちの文化活動などについてのお考えをお聞きました。

地方に住む良さ

文化というのを、人の何かやるパフォーマンスを見に行くことだという風に考えていけば、それは東京や都会の方が有利ですけど、それだけではありませんからね。例えば、文化会館でクラシックのコンサートがあって、ベーターベンを聴くとしますね。で、その帰り道に、田んぼのわきを通ったら蛙が大合唱していたと。その時に、ベーターベンはよかったけど、そのあとが蛙の合唱じゃ台なしだ、と思うか、それとも、ベーターベンも素晴らしいか、と思うかど蛙の合唱もまた素晴らしい、と思うかどううか、その差ですよ。蛙の合唱は、もちろんベーターベンと同列にくらべることはできないけど、それはそれで別の魅力があるわけですから。



ぶどうの手入れをする玉村さん

感性を磨く

むしろ、そういった素直に自然の素晴らしさを受け止めることのできる感性を持っている人だったら、同じクラシックを聴くにしても、東京よりも田舎で聴いた方がより多くのものが得られるということもあるわけです。どうしても地方にいる人は、地方だから不利だとか、なかなか良い先生がいなとか、そう考えがちになりますけど、そうじゃなくて、ありふれた日常の中に何か美しいものを見つけた感性を持てるかどうか、で

すよね。

自由に自己表現を

何が暮らしていく上で一番大切なかというと、どこかで自分を表現するということか、自己実現をすることですよ。そのためには、どんな方法であれ、仕事であってもいいし、趣味であってもいいし、ボランティアであってもいいし、それはいろんなカタチがあるわけですよけど、そうした活動の中で自分の感性を磨いていく必要がある。それはプロの仕事だとかアマチュアだとか、質がどうかなどは全く関係のないことです。問題は、自分でやるかどうか、ということ。自分自身で工夫しながらやる中で、素直に自分の気持ちを表わすことができれば、それがその人なりの表現になる。結果としておのずと表われるのが個性なのです。

楽しんで、臆せずに

やっぱり、自由だから楽しいんだってね。作品として何かよいものができなくても、それをやっている時間が非常に楽しめれば、それで十分いいと思うんですよ。さまざまのことを自由に試みる、その過程を楽しむということ。みんな、どんないろんなことに臆せず挑戦してほしいと思いますね。

(次号に続く)

仲良く、楽しく、美しく歌って15年 東部町混声合唱団創立15周年記念演奏会



東部町混声合唱団は、七月一日、創立十五周年記念演奏会をサンテラスホールにおいて開催しました。当合唱団は、昭和五十五年春、中央公民館の開館を期に、この活動を拠点とする混声合唱団として結成されました。

「仲良く、楽しく、美しく歌う」をモットーに歌い続けて十五年、

「仲良く、楽しく、美しく歌う」

助成金を受けることもでき、団員の更なる飛躍への大きな力となりました。

今回は、創立十五周年の記念としての演奏会に加えて、これまで長年にわたり合唱団の発展に貢献されました指揮者山丸洋子先生の引退の公演でもあり、団員にとりましては先生の熱心な指導のもとに拙いながらも一生懸命練習を重ね、格別の感慨を持って迎えた演奏会でした。この日、ホールいっぱいのお客様にお越しいただき、私たちの合唱を聞いていただけたことは、「最高の喜び、最高の幸せ」でした。

十五年をひとつの節目として、また、指揮者山丸先生が希望により勇退されることになり、新たに小諸高等学校音楽科の高木房雄先生をお迎えして、また私たちが初心

にかえて「声を合わせ、心を合わせ」美しいハーモニーを求めて新たな第一歩を踏み出そうと思っております。そして、老若男女を問わず大勢の方々に仲間になっていただき、楽しく活動できることを願っております。

是非、みなさんも一緒に歌いましょう。

(T)

トピックス

心の豊かさのための 生涯学習

邦楽部会

恒例となりました発表会も三回を数え、内容も充実してきました。身近にある歌、良く知っている歌



を演奏して楽しんで楽しむひとときでした。人生八十

年の時代、国際的にも注目されている「心の豊かさのための生涯学習」の一部を担って学習の推進をおおいに続けていきます。

第十六回舞踊

発表会を終えて

三月十二日、文化会館において舞踊クラブ二十八、会員百六十余名が日頃の勉強の成果を力演発表し、指導者の先生方にもご出演願

い花を添えて頂き、盛会裏に無事終了することができました。これも先生方や之に関する多くの皆様方のご協力のお蔭と深謝申し上げます。

町には幾つもの流派があります。皆舞踊を愛する人の集まった和やかな会です。このふれあいによって体の健康はもとより心もより豊かに向上させていきたいと願っております。

詩吟発表会

五月七日、岳照流日本誠吟会東部支会が「第十六回吟道大会」を、また、六月十八日、聖風流東部吟道会が「第二十六回温習大会」をそれぞれ中央公民館で開催しました。



第26回温習大会



第16回吟道大会

歌声響いて四十年



次 隆 柳 黒
よ み さ 石 白
指 揮 長 委 員 実 行

山びこ・コールエコージョイントコンサートを三月五日の午後、文化会館で開催し、多くの人々に聞いていただきました。

第十六回民謡発表会



例年行われていた発表会が二月十六日、会員一三四人の出席のもとで盛大に行われました。

人ひとりがステージに立って得意の歌を唄うのですが、十六回

ともなれば気持は一流の歌手のもりです？。おはやしから伴奏まで全部手作りの発表会ができるようになったのも、それぞれの先生方のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。皆様の精進を期待します。

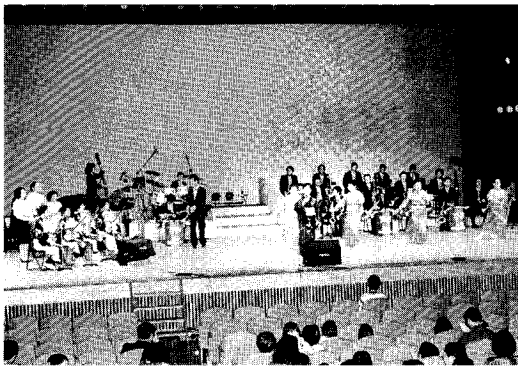
第二回ミュージック

ホリデーを終えて

音楽部会

誕生二才となりました「ミュージック・ホリデー」が七月九日、盛況に行われました。

今回は、「サンテラス・オペレーター卒業公演」とのタイアップ公演でした。サークル間を融合した演出等、音楽部会ならではのマルチコンサートとなりました。



お知らせ

●第四回短詩型文学祭の原稿を募集します。募集期間は九月一日から二十九日まで、短歌一首、俳句二句、川柳三句、詩一編です。詳しくは中央公民館にお問い合わせください。

●岡川桂城書展が、十月六日から十一日まで文化会館展示室で開催されます。入場は無料です。

●第二十三回町音楽祭が、十月二十二日に文化会館サンテラスホールで開催されます。

●平成七年度町総合文化フェスティバルが、十一月三日から五日まで中央公民館で開催されます。

●竹内不忘彫塑展が、十一月二日から十二日まで文化会館展示室で開催されます。入場は無料です。

編集を終えて

今年二回の発行ができることになりインタビュー記事を集めました。グループ訪問もたのしかった。委員会は雨の中を何度も集まった。やっと漕ぎ着けた。何気なく読んでいた会報、これからは最後の一字までしっかり読もう。(佐藤)